

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

失敗しないための工場・倉庫建設のスケジュール調整

工場・倉庫のオーナー様は、建設会社に建設相談した際に、「今、手一杯でご希望のスケジュールに間に合いません。」など言われたことはありませんか？

工場建設のスケジュール調整は、プロジェクトの成功と納期厳守を左右する最重要課題なのですが、建設会社の都合や予期せぬトラブルによる遅延が発生しがちです。

今回は、建設プロジェクトを確実に進めるために、特に重要な3つのポイントを解説します。



1. 計画段階での徹底的な準備とリスク対策

プロジェクトの遅延の大きな原因は、計画不足や初期段階での決定の曖昧さにあります。これを防ぐためには、まず建設会社で作成する工程表作成の精度を上げ、不確実な要素を事前に排除する必要があります。

徹底すべき初期計画のポイント

地盤調査の先行実施：設計の早い段階で地盤調査（ボーリング調査など）を完了させます。これにより、軟弱地盤が判明した場合でも、地盤改良工事に必要な期間（通常2週間から4週間またはそれ以上）を事前にスケジュール調整に組み込みます。地盤問題による予期せぬ遅延を回避する鍵です。

法律・規制手続きの早期開始：建築確認申請や都市計画法に基づく許可など、行政手続きにかかる期間（通常3週間から7週間）を正確に見積もり、着工時期に間に合うよう、余裕を持って申請準備を進めます。

2. サプライチェーンの課題に対応した資材調達戦略

近年の資材不足や流通の混乱は、工場建設のスケジュール調整における大きな落とし穴です。資材調達の遅れによる工事ストップを防ぐ対策が必要です。

資材調達に関するスケジュール対策

先行発注の活用：長納期が予想される主要な鉄骨や特殊な設備については、詳細設計の完了を待たずに「先行発注」を行います。これにより、現場作業が始まる頃には資材が確保されている状態を作り出し、納期厳守の可能性を高めます。

工場・倉庫建設のスケジュール調整の3つのポイント

複数の供給元を確保： 安定供給を確保するため、主要資材の供給元を一つに絞らず、複数のサプライヤーと契約する「ダブルソーシング」などを検討します。一つのルートが滞っても、別のルートで補填できるよう備えます。

3. 最新技術を活用したリアルタイムの進捗管理

従来の紙ベースの管理から脱却し、デジタル技術を導入することで、工場建設のスケジュール調整の精度とスピードが飛躍的に向上します。

デジタル技術を活用した効率化

BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の導入： BIMは、建物の立体的なデジタルモデルを作成する技術です。設計段階で配管と構造材の干渉などの問題を事前に検知し、設計の手戻り（やり直し）を減らします。これにより、設計期間を短縮できるなど、工程全体の効率化に貢献します。

クラウドでの進捗報告： 現場の進捗報告をクラウドベースのツールで行うことで、現場とオフィス間での情報共有をリアルタイム化します。計画からの遅れが発生した場合でも、すぐに原因を特定し、建設会社が迅速に人員調整などのスケジュール調整を仕掛けることが可能になります。これは、問題が大きくなる前に手を打つためのプロジェクト管理の基本です。

上記のポイントを実践することで、工場建設のスケジュール調整は大きく安定します。建設会社と計画的なリスク管理を共有し、プロジェクトを成功に導きましょう。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

（お問合せ窓口：牟田、佐久山）

TEL：019-623-5575 FAX：019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで